



PANCHA LAMA / パンチャ ラマ

1970年ネパール・サララヒに生まれる。幼い頃から音楽や舞踊に親しみ

1985年にプロとなり当時の国王の前での演奏で「バンスリの天才」と称される。

ネパールを代表するミュージシャンとして、テレビ、ラジオを始め、その演奏やレコーディングは数千曲におよぶ。

94年来日。以来東京を中心に全国各地で演奏活動を開始。「大阪花博」「国際協カフェスティバル」「淡路島花博」等に招待演奏。テレビCMにも出演

96年『チョウタリ バンド』（ネパール人と日本人の混合バンド）を結成。1stアルバムCD『チョウタリ』は、今なお、ネパールの人々に愛されている。ジャンルを越えたセッションで、世界のミュージシャンとも共演

2002年にはさだまさし氏のCDにも参加。作曲も手がけ、現在までに10枚のオリジナルCDアルバムをリリース。3枚のDVDを制作。

演奏活動は、日本のみならず、韓国、台湾、タイ、インド、ウズベキスタンなどでも開催

2003年故郷に日本人の協力を得てパンチャイサカ学校を建設。演奏活動を通し支援を続け、

今年開校16年目を迎える。音楽性の豊かさと様々な活動を評価され2016年ネパールの首相から表彰

2019年1月には、大統領官邸でも演奏し表彰を受ける。日本でも『日本で活躍する世界のアーティスト』として、NHKBS1や、NHK地球ラジオでも紹介された。

2016年は、角川記念制作映画『エヴェレスト・神々の巔き』の映画音楽制作サポートとして参加し、映像にネパールの情景を表現。

2017年7月には『アジア・シルクロード音楽フェスティバル 笛と太鼓の祭典』でサハ共和国を訪れ

広い会場を埋め尽くす地元の人々から拍手喝采をあびる。パンチャラマの音楽は全てオリジナル！！

民族的な楽しいものや、壮大な映画音楽の様なストーリー感溢れるものまで、多種多様な曲奏、技法を編み出し独特の音楽の世界を通してネパール文化を世界に紹介している。